

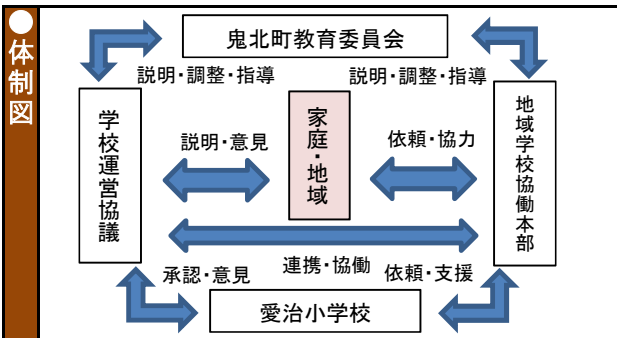
こんな活動です

# 地域とともにある学校づくりを目指して

愛媛県鬼北町	●活動名 愛治小学校区地域学校協働本部	●関係する学校名 鬼北町立愛治小学校
--------	------------------------	-----------------------

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	4 学級	のべ児童・生徒数	26 人
活動区分	学校支援活動		—			地域人材育成	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	—		1人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携			
	平成28年4月1日設置		61人	無			
参考URL	<a href="https://aiji-e.esnet.ed.jp">https://aiji-e.esnet.ed.jp</a>						

●連絡先 鬼北町教育委員会 教育課 文化スポーツ係 ☎ 0895-45-1111



●活動の概要・経緯  
愛治小学校は、平成28年度にコミュニティ・スクールに指定され、同時に地域学校協働本部を導入した。以来、この2つの仕組みを学校経営の柱として「地域とともにある学校づくり」を進めている。

○学校支援活動

稲作・サツマイモ・野菜・花の栽培活動の支援、こんにやく栽培・こんにやく料理の支援、森林教室・水質調査・茶道教室の支援、しめ縄作り体験活動の支援、生活科・社会科見学・福祉活動の支援、環境整備活動、児童の登下校の見守り活動

○地域人材を活用した教育支援活動

愛治地区PTA研究集会(学校・地域が連携して授業参観・講演会を実施)の支援、愛治地区に保存継承されている五ツ鹿踊り・愛治ちんどんの体験学習支援、愛治地区で活躍されている方々の生き方学習(キャリア教育)の支援

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

① 緑の少年団活動の一環として稲作(餅米)体験(3年生以上)、サツマイモ作り(1~4年生)、こんにやくいも作り(5・6年生)、森林教室(5・6年生)、北宇和高等学校連携学習(野菜・花:1~4年生)を総合的な学習の時間等に行っている。稲作体験では、田植え・稲刈りを地域の方の協力により実施し、収穫した餅米で餅つきを行い地域のお世話になった方々に配っている。こんにやくいも栽培では、種芋の植え付け・収穫・料理を地方局産業振興課・町農林課・地元の食育団体等の協力を得て実施している。

② 平成30年度で36回を数える愛治地区PTA研究集会では、参観授業後学校と地域が連携して講演会等を実施している。昨年度は愛媛大学名誉教授をお呼びし「南海トラフ巨大地震に備えて」の講演会を実施した。また、愛治地区の伝統文化の体験活動、愛治地区で活躍されている方々の生き方学習(キャリア教育)を行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

鬼北町教育委員会では、地域コーディネーターを雇用して愛治小学校に配置している。地域コーディネーターは、学校から見学や体験活動、講師を招く活動依頼等を受け、担当者と打合せ・交渉・調整・交渉・調整・当日及び事後の対応を行っている。学校教職員は、より一層教育活動に専念でき、児童と向き合う時間も多くなった。また、年5回の学校運営協議会にも出席し、学校運営協議会と地域学校協働本部の連携・協働の機能の向上に努めている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

事業の導入により、授業等でのゲストティーチャーの活用や地域との連携・協働がスムーズに行えるようになった。また、学校と地域のつながりが一層深まるとともに、栽培活動、地域の伝統文化、地域で活躍している方々の生き方学習等様々な地域の人たちとの交流活動を通して、児童が地域のよさを実感できてきていると感じる。

地域と学校がより近い存在になり、地域の方々が主体的・自主的に学校に協力し、児童との交流を楽しみにしている人たちが増えてきた。地域コーディネーターの配置により教職員の多忙感が減り、子どもと向き合う時間が増えてきている。

## ●その他

平成30年度は、地域から「手作り環境保全看板作り」の要請があり、全校児童で取り組み愛治地区の6か所に地域の方と児童で看板を設置した。学校からの協力要請だけでなく、学校も地域に協力していく双方向的な活動も学校運営協議会等で意見を聞きながら今後も進めていきたい。



地域の方と「こんにやく料理」を一緒に作りました。地域の方々の生き方学習(キャリア教育)の支援



愛治地区の伝統芸能「五ツ鹿踊り」を保存会の方から伝